美深の課題を知り、美深を考える

令和8年度 まちづくり未来トーク

10月１日、美深高等学校１年生を対象に、地域の課題を聞いて、今後のまちづくりについて意見を交わす「まちづくり未来トーク」を開催しました。

当日は「これからの高校生に期待すること」をテーマに、町長から町の課題である人口減少、働き手不足、空き家、クマ対策について、話を聞き取り、その後高校生たちはグループに分かれて意見を発表しました。

生徒からは、4つの課題解決に向けた具体的なアイデアが次々と提案され、お互いの意見に耳を傾けながら熱心に議論を深めていました。

町長からは「限られた時間の中で、若者ならではの柔軟な発想や率直なアイデアを提案いただき、非常に有意義な時間となりました。美深町の魅力を知っていただき、町外から通う生徒の皆さんも含め、この町に愛着と誇りを持ってほしい」と高校生に熱いエールを送りました。

SNSやロケ地としての実績を活かし、美深町の魅力を発信したらいいと思います

スバルにテストコースがありCMに使われるなど過去に実績があります。町のイメージアップになり「関係人口」を増やすための、有効なアイデアと思います

クマ被害の1つの理由として、森の木の実が減ってるため、木を植えてヒグマが人里へ出没するのを防ぐ対策を検討してはどうでしょうか

木を植えてクマの餌を確保し、人里に降りてこないようにするという提案は、環境にも配慮された、本当に優れた素晴らしいアイデアだと思います

感想

実際に参加してくれた皆さんにインタビュー！

改めて わがマチ を考えてみて

町長との意見交換はとても新鮮で、最後までリラックスして楽しく参加できた！

改めて美深町の課題を知ることができた。今後の授業でも活かしたい！

髙橋 くん

紺野 さん

中学生が職場体験で、未来トークの課題について調査!

今回は高校生だけでなく、職場体験中だった美深中学校２年生の石垣くんが未来トークで話題となっていた「クマ対策」について、担当課である住民生活課の職員から聞き取り調査を行いました。

調査では、農作物や町民の暮らしを守るための具体的な「食害被害への取り組み」をはじめ、クマが住宅街などの人里へ来たときの「緊急時の対応手順」、さらに餌不足などが懸念される「森の中の生息環境の現状」について、職員からデータや実例を交えて詳しく説明を受けました。

石垣くんは、担当職員の説明に真剣に耳を傾け、地域の安全を守るための大切な情報をまとめていました。

石垣くん